

第25回環境地質学シンポジウム

主催：地質汚染—医療地質—社会地質学会

準主催：Japan Branch of IUGS-GEM

共催：日本地質学会，日本鉱物科学会，日本情報地質学会，
内閣府認証（NPO）日本地質汚染審査機構，
Japan chapter of IMGA

期日：2015年11月27日（金）・28日（土）

会場：日本大学文理学部図書館3階コンピュータセンター オーバル・ホール

（最寄駅：京王線「下高井戸駅」もしくは「桜上水駅」 会場まで各駅から徒歩8分）

地図HP <http://www.chs.nihon-u.ac.jp/access/>

参加費（論文集込み）：社会地質学会員 6,000円 非会員 8,000円

* 非会員で共催・協賛団体会員は非会員費用から一律1,000円引 学生 無料（論文集無し）

**CPDの取得が可能となりました

特別講演：駐日モンゴル国大使館 ソドブジャムツ・フレルバータル大使
「日本とモンゴルの協力と交流について」



開始時間	演題・演者	27日	28日
10:00	開会のあいさつ 村尾 智 社会地質学会会長		
10:05	地震にともなう被害の集中と繰り返し現象—新潟県と長野県の事例から— 仲川 隆夫(環境地質研究者)		17:00 複数の帯水層における有機塩素化合物の移行について 能城 悠(日本大学文理学部)・竹内 真司・高嶋 洋
10:20	Examples leading to the solution for liquefaction—fluidization hazards in Tokyo Bay Area Wataru NIREI (古関東深海盆ジオパーク協議会・日本地質汚染審査機構), Osamu KAZAOKA, Tomoyo HIYAMA, Sachiyo MASHIKO, Hideyo TAKAHATA, Masaaki UZAWA, Kazuya KIMURA, Kunio FURUNO, Shoichi UESUNA, Mitsuo SATO, Shigeari OKETANI, Hideo YOSHINO and Hisashi NIREI		17:15-17:25 総合討論
10:35	東京湾岸埋立地の人工地層中における 2011 年東北地方太平洋沖地震時の液化化—流動化部分と非液化化—流動化部分—オールコアの剥ぎ取り面とX線CT画像から— 風岡 修(千葉県地質環境研究室)・佐藤 光男・堀井 義久・荻津 達・酒井 豊・香川 淳・古野 邦雄・楠田 隆・吉田 剛		28日
10:50	埋立地における液化化—流動化：—地震動と間隙水圧の観測から— 荻津 達(千葉県地質環境研究室)・酒井 豊・加藤 晶子・風岡 修・香川 淳・吉田 剛・亀山 瞬		09:15 江戸時代(1840年)に記録された新潟県佐渡島相川鉱山のじん肺 —その2: 対策と治療を中心に— 仲川 隆夫(環境地質研究者)
11:05-11:15	総合討論		09:30 ネパール・テライ低地における地下水汚染の地球化学的特徴と数理統計解析 駒井 武(東北大学)・中村 謙吾・大岡 健三・成澤 昇・中村 圭三
11:15	無料高解像度衛星画像の地質利用について 古宇田 亮一(産業技術総合研究所)		09:45 戦災樹木表皮上に存在する重金属類の特徴 高階義大(洛斐テクニカ)
11:30	Practical satellite data utilization for monitoring artisanal and small-scale gold mining in Peru Kazuyo HIROSE (宇宙システム開発利用推進機構), Shinsaku NAKAMURA, Tomomi TAKEDA, Gino Germana GOMEZ, Vladimir RAMIREZ, Josue Mercado FUENTES, Johana SALAZAR and Jose L. Yucra SALAS		10:00 カドミウムの貝化石への吸着試験—資材を利用した植物へのカドミウム抑制効果— 福山 厚子(福井大学)・堀 照夫・米沢 晋・奥野 正幸・木下 栄一郎・長谷川 和久
11:45	河川モデル AIST-SHANEL Ver. 3.0 の公開 石川 百合子(産業技術総合研究所)		10:15 有害無機陰イオンのマネージメントにおける地球化学モデリングの重要性 佐藤 努(北海道大学工学研究院)
12:00-12:10	総合討論		10:30 アルカリ条件におけるシリカ含有フェリハイドライトへのセレンの取り込み 尾崎 友里絵(北海道大学工学部)・Paul Clarence FRANCISCO・佐藤 努・大竹 翼
12:10	琵琶湖愛知川河口沖湖底表層堆積物中の珪藻遺骸群衆の深度変化(ポスター発表) 鈴木 勇志(早稲田大学大学院人間科学研究科)		10:45 焼却灰の重金属除去と不溶化技術の検証 楡井 久(茨城大学)・木村 和也
12:15	琵琶湖過去約4.5万年間の湖水位変動とその要因(ポスター発表) 井内 美郎(早稲田大学人間科学学術院)・大塚 佳祐・里口 保文・芳賀 裕樹・林 竜馬		11:00 不溶化剤を用いた焼却灰の不溶化処理に関する評価の提案 上砂 正一(日本地質汚染審査機構)・相川 信之
12:20-13:50	昼食		11:15-11:25 総合討論
13:50-14:30	一日目発表のポスターコアタイム		11:30 法律と地質科学
14:30	観測井による地下水管理—関東地下水盆— 古野 邦雄(元千葉県地質環境研究室)・香川 淳・風岡 修・楠田 隆・楡井 久		11:30 地下水保全法案の再検討 高嶋 洋(野田市土木部下水道課)
14:45	2100年における九十九里地域の累積沈下と潜在海域 八武崎 寿史(千葉県地質環境研究室)・風岡 修・香川 淳		11:45 法地質学への有機化合物およびDNA分析の応用 杉田 律子(科学警察研究所)
15:00	地盤沈下・地下水位観測井による観測成果(2014) 香川 淳(千葉県地質環境研究室)・古野邦雄		12:00 イタリア、ラクイラ地震裁判で問われた科学者の責任について 東 史彦(慶応義塾大学ジャン・モネEU研究センター)・村尾 智・山本 真司
15:15	習志野市と八千代市の地質と地下水流動 吉田 剛(千葉県地質環境研究室)・風岡 修・藤ヶ崎 稔・坂本 雅治・長根山 皓介・楡井 久		12:15-12:25 総合討論
15:30	淡水成の泥層からなる難透水層中の流体の通り道—房総半島北部の下総台地での例— 風岡 修(千葉県地質環境研究室)・吉田 剛・荻津 達・香川 淳・藤ヶ崎 稔・古野 邦雄・酒井 豊・楡井 久		12:25-14:00 昼食
15:45	On man-made strata and the Jinji Unconformity Hisashi NIREI (Japan Branch of IUGS-GEM), Jonas SATKUNAS, Osamu KAZAOKA, Muneki MITAMURA, Takayuki KAWABE and Kunio FURUNO		14:00-14:30 社会地質学会総会
16:00-16:10	総合討論		14:30-15:00 二日目発表のポスターコアタイム
16:15	放射線物質による地質汚染現場でも有効な単元調査法 木村 和也(医療地質研究所)・楡井 久・古野 邦雄・楡山 知代・上砂 正一		15:00-16:00 特別講演 駐日モンゴル国大使館 ソドブジャムツ・フレルバータル大使 「日本とモンゴルの協力と交流について」
16:30	除染評価の基準とすべき空間放射線量率 木村 和也(医療地質研究所)・楡井 久・古野 邦雄・楡山 知代・吉田 剛		Geo-ethics (地球倫理)
16:45	鉛直高密度地下水質測定による地下水涵養機構と酸化・還元状態(その2) —下総台地中央部、八千代市北部の透水路の例— 本田 恵理(千葉県地質環境研究室)・風岡 修・藤ヶ崎 稔・長根山 皓介・吉田 剛・渡辺 綾子・中丸 純平・手塚 裕樹・田村 嘉之・向井 正二郎		16:00 Present status of ethical gold production in Mongoli Satoshi MURAO (産業技術総合研究所), Baatar TUMENBAYAR, Jambaldorj URAMGAA and Sainbileg MINJIN
			16:15 モンゴル国の金鉱と尾鉱の特徴—エシカルゴールドの確立へ向けて—(ポスター発表) 中島 和夫(山形大学理学部)・村尾 智・五十公野 裕也
			16:20 市場経済移行国の「持続的」発展を問う —ベトナムにおける鉱物資源開発の現状を中心に— 中野 亜里(大東文化大学国際関係学部)・村尾 智・小高 泰
			16:35 中越関係と南シナ海—資源開発問題をを中心に— 小高 泰(拓殖大学国際学部)
			16:50 地球科学情報処理過程における社会的科学的倫理的責任 西脇 二一(奈良大学)
			17:05-17:15 総合討論
			17:15-17:45 シンポジウム総合討論
			17:45-18:00 講演賞・奨励賞表彰・閉会

* 表題・著者名は申し込み時のものです。事前の発表取り消しなどの情報は社会地質学会ホームページにてご確認ください。
** ポスター表記のない発表は口頭発表(持ち時間15分)です。ポスター発表は、その日のポスターコアタイムにポスターの説明と、各セッションの際に5分間スピーチがあります。
*** 企業展示、本学会の書籍展示・注文などを予定しています。書籍は当日参加者に限り定価の半額にて注文いただけます。

詳細情報等はHP：<http://www.jspmug.org/> まで

その他問い合わせ先：〒261-0005 千葉県千葉市美浜区稲毛海岸 3-5-1 千葉県環境研究センター 地質環境研究室 地質汚染-医療地質-社会地質学会 第25回環境地質学シンポジウム担当(043-243-0261)